

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------|----|-----------|
| ○事業所名 | すまいるプラス | | |
| ○保護者評価実施期間 | 6年 4月1日 | | 7年 1月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 30 | (回答者数) 18 |
| ○従業者評価実施期間 | 6年 4月1日 | | 7年 1月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 7年 2月 7日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・子どもに寄り添って一緒に活動を楽しんでいる事。 | ・各指導員が子どもと同じ目線に立つ事で、子どもの気持ちを引き出しやすい。 ・子どもの「仕事がしたい」「跳び箱で遊びたい」などのやりたい事を尊重している。 | ・1対1の活動の時間を大切にしながら子どもの遊びの幅が広がるように支援する。 |
| 2 | ・地域や県外に外出し、色々な事の体験が出来る事。 | ・市役所が開催している「チャレンジスポーツ」やイベント活動に参加し、利用者が地域や参加されている子ども達とふれあい、関われる時間を持っている。 | ・子ども達だけで考えてイベント行事に参加したり出来るような力を身に付けられるように支援していく。 |
| 3 | ・社会に出る為に必要である生活、常識を身に付ける経験をしている。 | ・電車に乗ったり、スーパーに買い物に行き、お金について学び、社会で生きていく為のスキルを身に付けられるような活動を支援の中に組み込んでいる。 | ・時刻表の見方や切符の買い方、困った時など誰かに聞いたり助けを求められるようなコミュニケーション力を身に付けられるように支援していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|----------------------------------|--------------------------------|
| 1 | ・子どもの思いを受け入れすぎてしまう事がある。 | ・子どもが楽しく来所し、穏やかに過ごしてほしいという思いが強い。 | ・どこまで手を貸すのか支援のボーダーを決めて共通認識を持つ。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |